

文部科学省委託 「教育ICT活用実践研究 研究発表会」 ～山江村立山田小学校～

球磨教育事務所・山田小学校

平成24年12月7日(金)、球磨郡山江村立山田小学校(藤本誠一校長 児童数220人)で開催された文部科学省委託教育ICT活用に関する研究発表会の様子を紹介します。

1 山田小学校の研究の概要

山田小学校では、ICT教育に積極的に取り組まれており、昨年度は文部科学省委託ICT活用実践研究九州・沖縄ブロック発表会が開催されました。

今年度は、研究主題を「児童の思考力・表現力の向上を支えるICT活用の在り方」として、次のような視点から研究に取り組まれています。

視点1: 子どもの学びを生み出す「提示・説明」の工夫

視点2: 子どもの学びを広げ・深める「考えの共有」の工夫

視点3: 子どもの学びの姿が見える「言語活動」の工夫



5年理科「ふりこのきまり」

2 研究発表会の様子

当日は、県内外から300人を超える参加者があり、各教室とも大変な盛況ぶりでした。

授業における「提示・説明」の工夫では、デジタル教科書や自作の動画コンテンツなどを手がかりに、児童は課題を見つけたり、学習の進め方を確かめたりしていました。また、「考えの共有」の工夫では、児童が電子黒板やタブレットパソコンを使って、自分の考えを説明したり、話し合ったりする活動が見られました。「言語活動」の工夫では、ノートやワークシート、学習形態などの工夫によって、児童が活発に話し合う姿を見ることができました。

その後の分科会では熱心な討議が繰り広げられ、教科や学習活動の内容に合わせた効果的なICT機器の活用はもちろん、教材(自作を含む)の豊富さやしっかりと計画された板書、そして機器を自在に操って学習する児童の姿などが高い評価を得ていました。



3年国語「物語を書こう」



6年社会「政治って、何だろう」

当日の詳細な様子は、山田小学校ホームページ(<http://www2.higo.ed.jp/es/yamadaes/>)の「ICT活用日誌」ブログで紹介されています。ぜひ御覧ください。

<球磨教育事務所>